

## 第五回ステークホルダー会議 ダイジェスト版

2007/1/13 なごや循環型社会・しみる提案会議 実行委員会 事務局

日 時：平成 19 年 1 月 13 日（土） 13 時 35 分～16 時 30 分

会 場：名古屋 YWCA 2 階 多目的ビックスペース

参加者：ステークホルダー 22 名（2 名欠席、3 名途中退席）

.....

今回の会議では、これまでのステークホルダー会議の結果をまとめ、専門家のシナリオ作成の方向性と作業が指示文書に沿ったものであるかを確認することを目的としました。

柳下実行委員から本日の趣旨・目的について説明があった後、石川実行委員が指示事項を受けたシナリオ化に関する説明（配布資料 2・3 参照）、専門家の小山さんから 2 つのシナリオの構造説明（下記図・配付資料 4 参照）がありました。

### (3)2つの基本テーマの候補

#### 候補その1

##### 「発生抑制」と「焼却の減らし方」



#### 候補その2

##### 「発生抑制」と「行政/市民・事業者の役割」



シナリオは会議やアンケートを通して明らかにされた論点をもとに作成されました。「ごみ・資源の流れ」において、重要と考えられた「発生抑制」を縦軸におき、「焼却の方向性」と「役割分担の程度」を横軸とする 2 つのシナリオ構造の候補を挙げました。

説明後の全体討議では、軸に関する質問や意見の表明が行われました。「その 1：焼却」については意見の対立が分かりにくく対立の概念にならないのではないかと、表現の工夫が必要である、目標に向かって段階的に仕組みを考えていく必要がありふさわしい、などといった意見がありました。また「その 2：発生抑制」に関しては、名古屋市の方向性を見出すにはふさわしい、行政や生活者の方向性や覚悟を問うものであり支持する、となどの意見があった。また、表現がわかりにくいという指摘があり、対立概念をはっきりさせるため表現そのものの見直しについての指摘もありました。

軸を選択するにあたり、重み付け投票を行った結果、「その 1」が 19 点、「その 2」が 33 点であった。従って、本会議の結果により「その 2：発生抑制」が選択されました。

今後は、専門家がシナリオを作成し、市民会議において説明、選択されて「循環型社会像」を検討していく予定です。